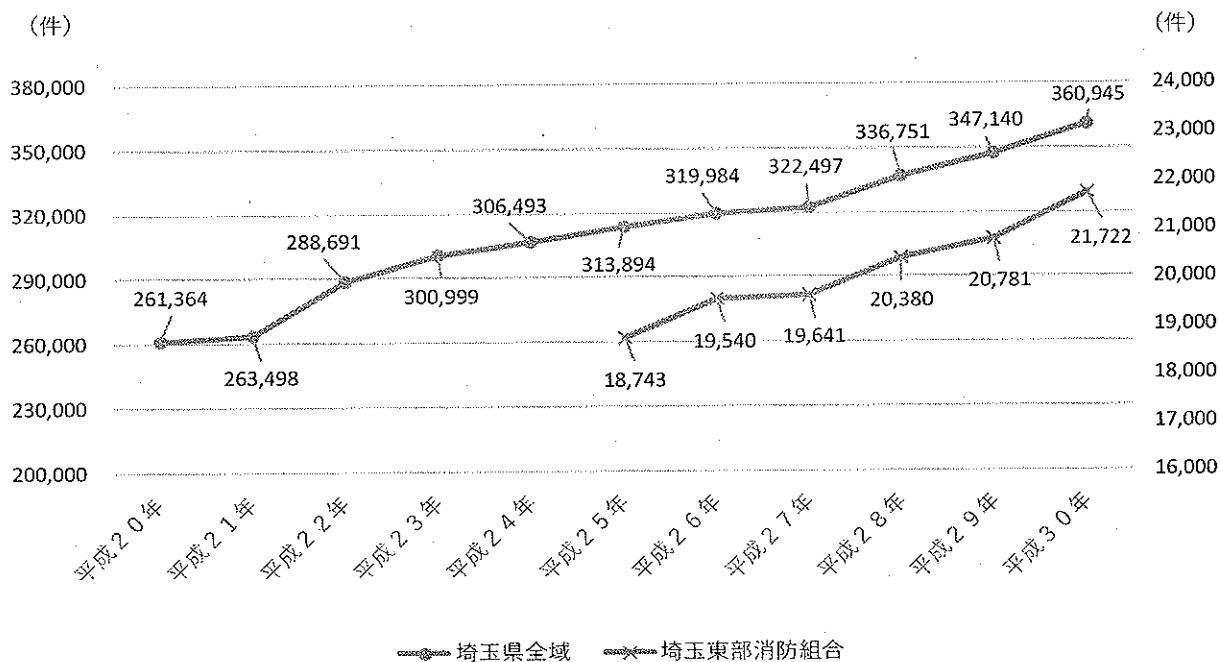


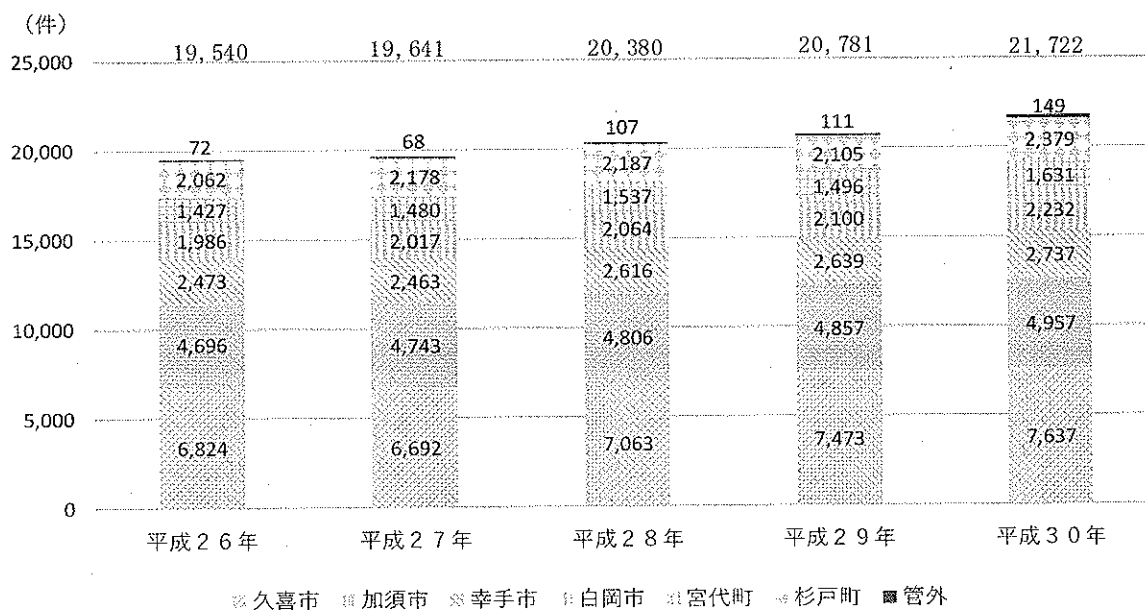
久喜市の医療等の現状について

(1) 埼玉県内（埼玉東部消防組合）における救急出動件数



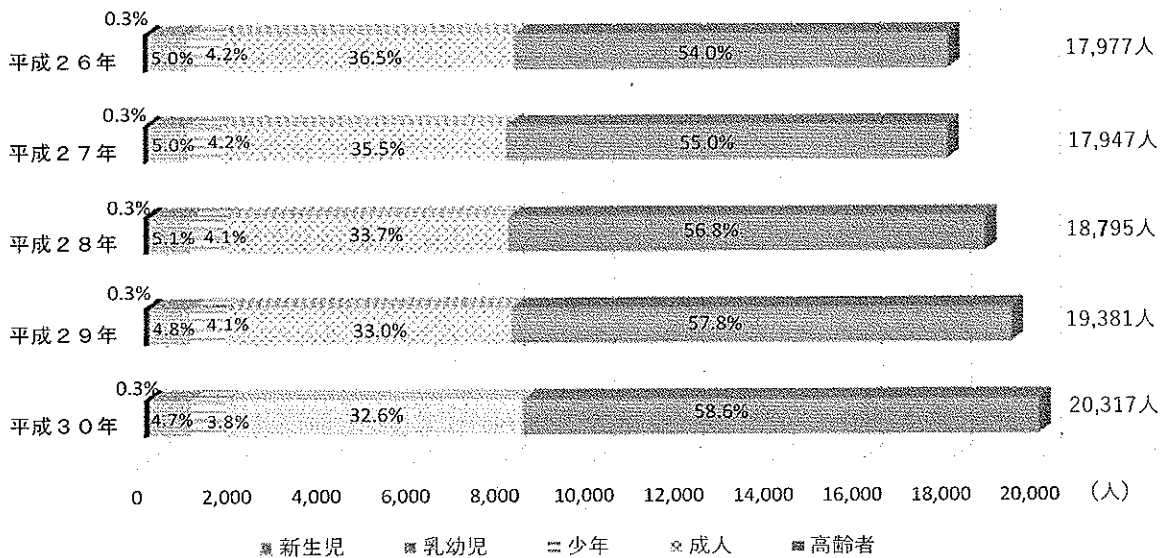
資料：埼玉県「消防年報」

(2) 埼玉東部消防組合構成市町の救急出動件数



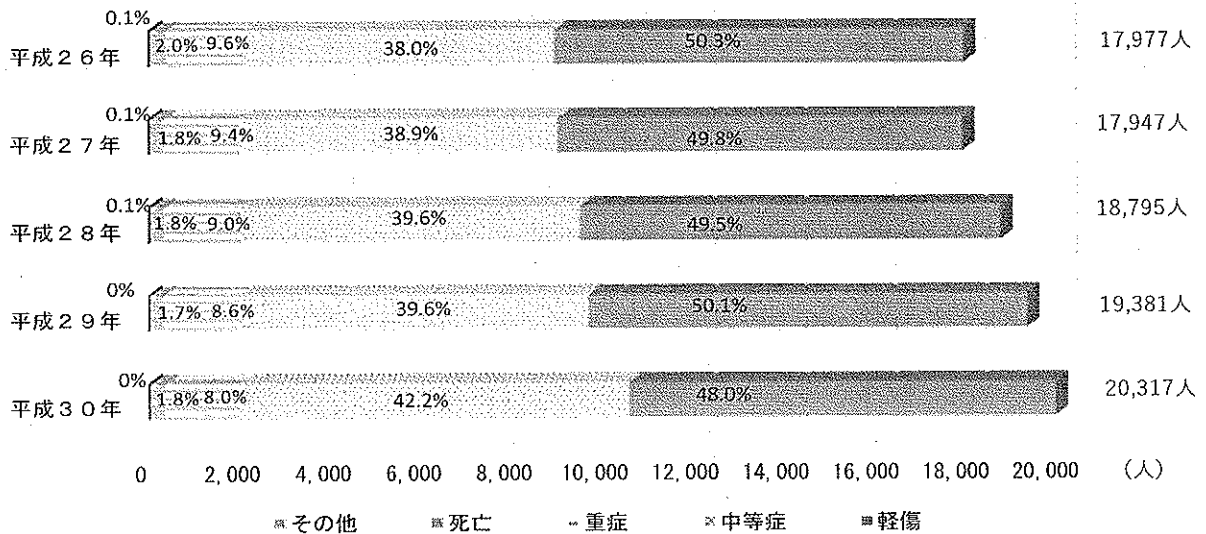
資料：埼玉東部消防組合「消防年報」

(3) 埼玉東部消防組合管内 年齢区分別救急搬送割合



新生児：生後28日未満の者 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者 少年：満7歳以上満18歳未満の者
 成人：満18歳以上満65歳未満の者 高齢者：満65歳以上の者 資料：埼玉東部消防組合「消防年報」

(4) 埼玉東部消防組合管内 傷病別救急搬送割合



死亡：初診時において死亡が確認されたもの 重症（長期入院）：傷病程度が3週間の入院を要するもの
 中等症（入院診療）：傷病程度が重症及び軽症以外のもの 軽症（外来診療）：傷病程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものの

資料：埼玉東部消防組合「消防年報」

※(1) から (4) における平成30年の数値は速報値であることから、今後修正する可能性があります。

(5) 重症以上傷病者搬送（照会回数4回以上の割合）

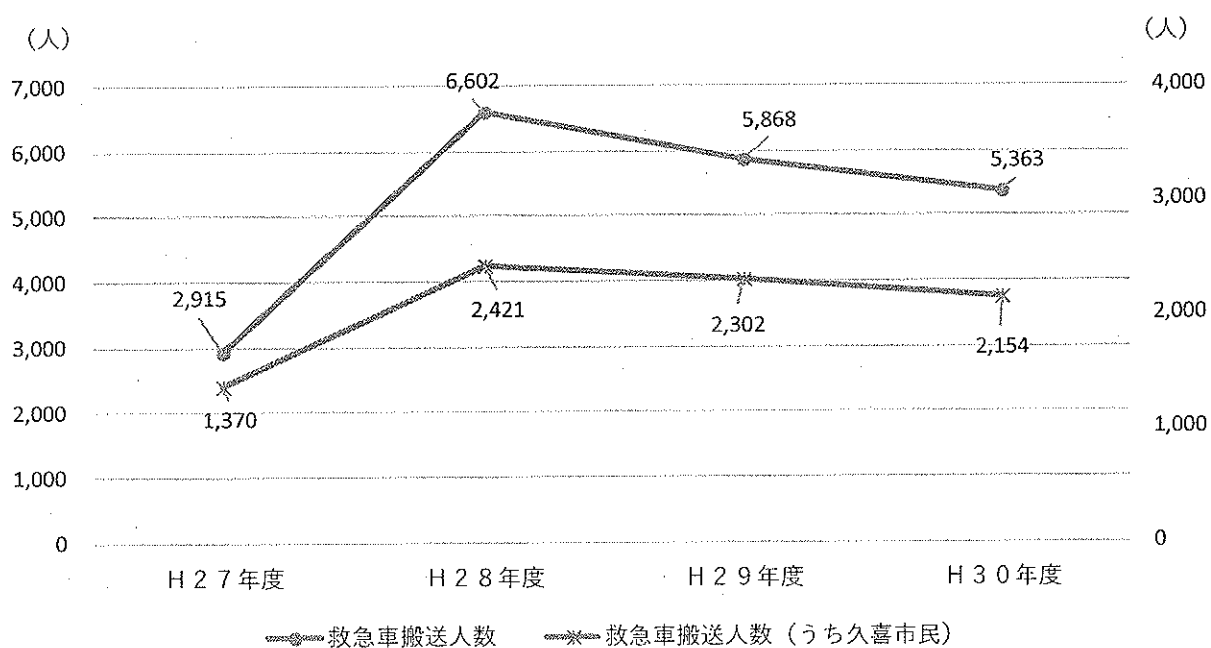
	平成27年	平成28年	平成29年
東部地域全体	6.7%	6.9%	5.8%
埼玉東部消防組合	4.0%	1.8%	1.3%

※東部地域構成市町は加須市、春日部市、草加市、越谷市、久喜市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、宮代町、杉戸町、松伏町

※埼玉東部消防組合構成市町は加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町

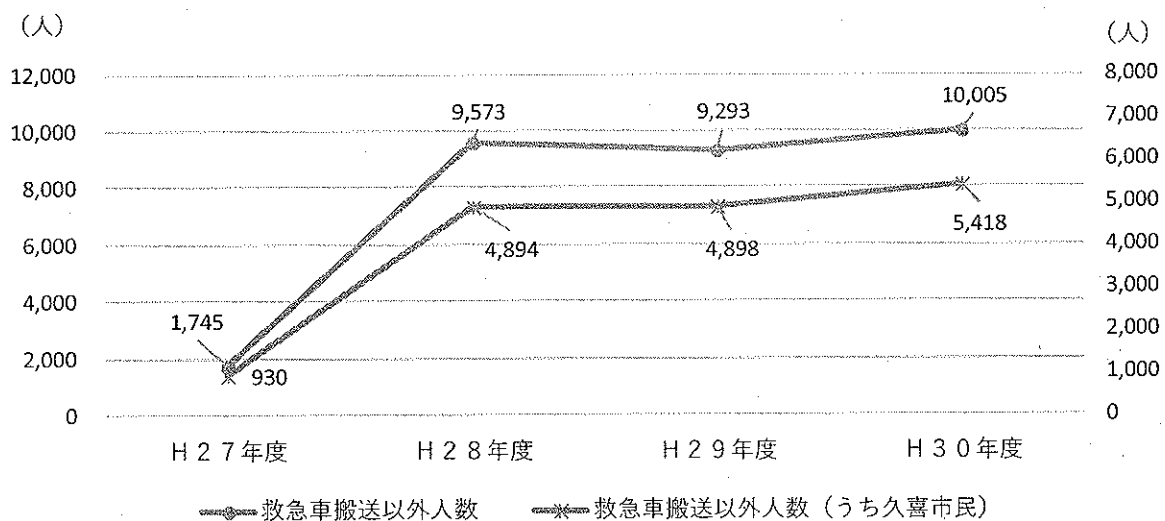
資料：埼玉県資料

(6) 新久喜総合病院における救急患者数（救急車搬送者）



資料：新久喜総合病院提供

(7) 新久喜総合病院における救急患者数（救急車以外患者数）



資料：新久喜総合病院提供

※新久喜総合病院は平成28年4月、JA埼玉県厚生連から事業譲渡を受け診療を開始しています。

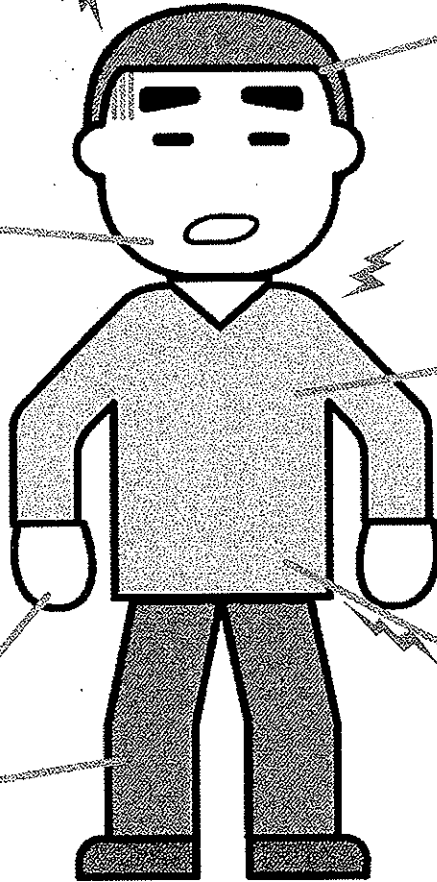
重大な病気やけがの可能性があります!

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



おとな



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

手足

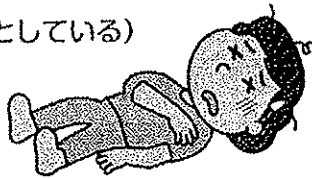
- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざる または、真っ黒い便が出る

意識の障害

- 意識がない(返事がない) またはおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない



けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

こんなときにはすぐに119番!!

子ども（15歳以下）

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

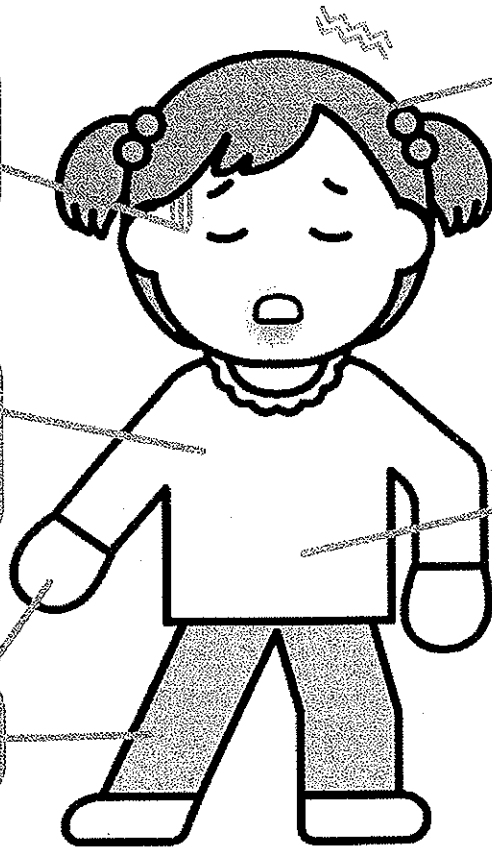
- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手足

- 手足が硬直している



意識の障害

- 意識がない（返事がない）
またはおかしい
（もうろうとしている）

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった



やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど



事故

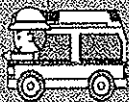
- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた



生まれて3カ月未満の乳児

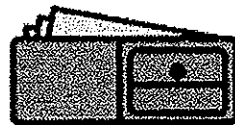
- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合



救急車が来るまでには、用意しておく便利なもの。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル

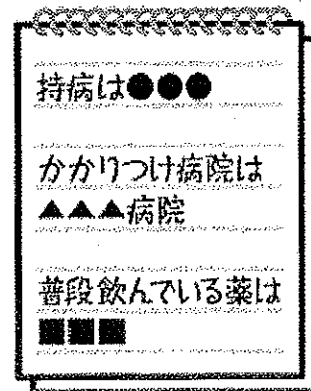


救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故の状況や体調が悪くなってから救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなった応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報

持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示など

- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、
日頃からメモにまとめておく便利です。



○本資料は、緊急度が高い(赤に該当)ことが予測され、すぐに救急車を呼んでほしい症状のうち、特に知ってほしい症状をまとめています。

○ここに掲載がない症状等については、救急受診ガイド2014年版をご覧ください。

○救急受診ガイド2014年版は左ページの2次元バーコードまたは、消防庁ホームページへアクセスしてください。

○緊急度とは様々な症状等を赤、黄、緑に分類し、医療機関を受診するための手段と受診する目安を示したものです。

赤 『救急車を呼びましょう』

黄 『今すぐに医療機関を受診しましょう』

緑 『医療機関を受診しましょう』